

別表 環境への負荷の自己チェック表

- 事業活動に伴う環境負荷について、本チェック表（Excelファイル）を基に把握してください。
- 環境負荷のうち、二酸化炭素排出量（エネルギー使用量）、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量は必ず把握してください。
また、エネルギー使用量料金、廃棄物排出量処理費用等についても入力し、どの程度のコストがかかっているかを把握してください。
- 本チェック表は、以下の10シートから構成されています。「入力の手順等」を参考に数値、項目名、単位等を入力してください。
 - ・ 入力の手順等（本シート）
 - ・ 1.事業規模（事業の規模）
 - ・ 2.取りまとめ表（二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量を一表に取りまとめる表）
 - ・ 3.エネルギー（エネルギー使用量）
 - ・ 4.一般廃棄物（一般廃棄物排出量等）
 - ・ 5.産業廃棄物（産業廃棄物排出量等）
 - ・ 6.水（水使用量及び総排水量）
 - ・ 7.化学物質（化学物質使用量）
 - ・ 8.資源（資源使用量）
 - ・ 9.製品（総製品生産量または販売量）

<入力の手順等>

- ① 環境負荷を把握する期間（年は西暦）を入力してください。1年間の環境負荷データを入力できます。入力した期間は、2～7の各シートの青色のセルに自動で入力されます。

開始年月：	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月
終了年月：	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月

※原則として1年間の環境負荷データを入力しますが、1年未満の期間で入力することもできます。

- ② 各シートのセルに数値、項目名、単位等を入力してください。既に入力されている単位については、必要に応じて変更してください。

黄のセル は、自動で合計値等が入力され、「2.取りまとめ表」に自動で入力されます。

- ③ 各シートで行、列の挿入や削除をすると、青色及び黄色のセルに設定している計算式等がずれることがあります。

1. 事業の規模

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

指標	単位	対象期間				
		(年 月～ 年 月)				
従業員数	人					
売上高	万円					
床面積	m2					
生産高	万円					
生産量	t					
運搬量	t					
運送距離	km					
()						
()						
()						

8. 資源使用量

- 資源使用量は、右の四角囲いの例を参考に、主要な物質を把握してください。
- 製品の製造において原材料等として使用される水や石油等は、資源使用量として把握してください。
- 資源使用量を把握するのが困難な場合には、総製品生産量または総商品販売量に廃棄物排出量を足し合わせて算出することもできます。

対象期間（ 年 月 ～ 年 月）			
資源の種類	単位	使用量	備考（保管量等）

- 資源の種類
 - ・金属（鉄、アルミ、銅、鉛等）
 - ・プラスチック（種類ごと）
 - ・ゴム
 - ・セメント
 - ・ガラス
 - ・木材
 - ・紙（用紙も含む）
 - ・農産物
 - ・水 等
- 使用時の状態
 - ・部品、半製品、製品、商品
 - ・原材料、補助材料、容器包装材 等

9. 総製品生産量または販売量

○ 製品等の生産量または販売量を把握してください。

対象期間（ 年 月 ～ 年 月）				
製品名等			単位	生産・販売量
製 品 ・ 商 品	重 量		t	
			t	
			t	
			t	
			t	
			t	
		重量合計	t	
	重 量 以 外			